

令和元年度 第1回

地域包括支援に関する会議

資料 3

2 議事

(3) 高齢者の権利擁護の推進について

1 養護者による高齢者虐待の状況

平成30年度の虐待通報届出件数は、208件であり過去5年間と比較して最高となった被虐待高齢者から見た虐待者の続柄は、「息子」が36人（28%）で最も多く、次いで「夫」32人（25%）、「娘」28人（22%）であり、同居する養護者による虐待が89%を占めている。

法施行年度

平成18年度

平成28年度

平成29年度

平成30年度

通報・届出 件数 (実数)		136	
通報者 (重複有)	介護支援専門員・事業所職員	53 (39%)	
	近隣住民	14 (10%)	
	民生委員	32 (24%)	
	被虐待者本人	12 (9%)	
	家族・親族	12 (9%)	
	虐待者自身	0 (0%)	
	行政職員・警察	10 (7%)	
	その他	20 (15%)	
計		153	
虐待と認定した件数		98	
虐待の種類 (重複有)	身体的虐待	45 (46%)	
	介護・世話の放棄・放任	39 (40%)	
	心理的虐待	24 (24%)	
	性的虐待	0 (0%)	
	経済的虐待	34 (35%)	
計		142	
被虐待者の情報	性別		
	男	16 (16%)	
	女	82 (84%)	
	年齢	65歳～69歳	11 (11%)
		70歳～79歳	40 (41%)
		80歳～89歳	39 (40%)
90歳以上		8 (8%)	
不明		0 (0%)	
虐待者 (重複有)	夫	14 (12%)	
	妻	6 (5%)	
	息子	48 (42%)	
	娘	18 (16%)	
	息子の配偶者	7 (6%)	
	娘の配偶者	3 (3%)	
	兄弟姉妹	2 (2%)	
	孫	6 (5%)	
	その他	10 (9%)	
	計		114

202		187		208	
97 (48%)	95 (51%)	94 (45%)			
11 (5%)	6 (3%)	8 (4%)			
7 (3%)	9 (5%)	9 (4%)			
18 (9%)	18 (10%)	10 (5%)			
22 (11%)	15 (8%)	21 (10%)			
1 (0%)	5 (3%)	4 (2%)			
38 (19%)	30 (16%)	55 (26%)			
8 (4%)	9 (5%)	7 (3%)			
202		187		208	
111		99		113	
74 (67%)	69 (70%)	85 (75%)			
17 (15%)	23 (23%)	25 (22%)			
58 (52%)	32 (32%)	38 (34%)			
1 (1%)	0 (0%)	1 (1%)			
23 (21%)	14 (14%)	23 (20%)			
173		138		172	
11 (10%)	22 (22%)	22 (19%)			
101 (91%)	79 (80%)	93 (82%)			
12 (11%)	5 (5%)	7 (6%)			
67 (60%)	41 (41%)	35 (31%)			
22 (20%)	43 (43%)	56 (50%)			
11 (10%)	12 (12%)	17 (15%)			
0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)			
38 (33%)	23 (22%)	32 (25%)			
2 (2%)	10 (10%)	9 (7%)			
35 (31%)	44 (42%)	36 (28%)			
22 (19%)	19 (18%)	28 (22%)			
3 (3%)	3 (3%)	4 (3%)			
2 (2%)	1 (1%)	2 (2%)			
3 (3%)	1 (1%)	5 (4%)			
6 (5%)	2 (2%)	4 (3%)			
3 (3%)	1 (1%)	8 (6%)			
114		104		128	

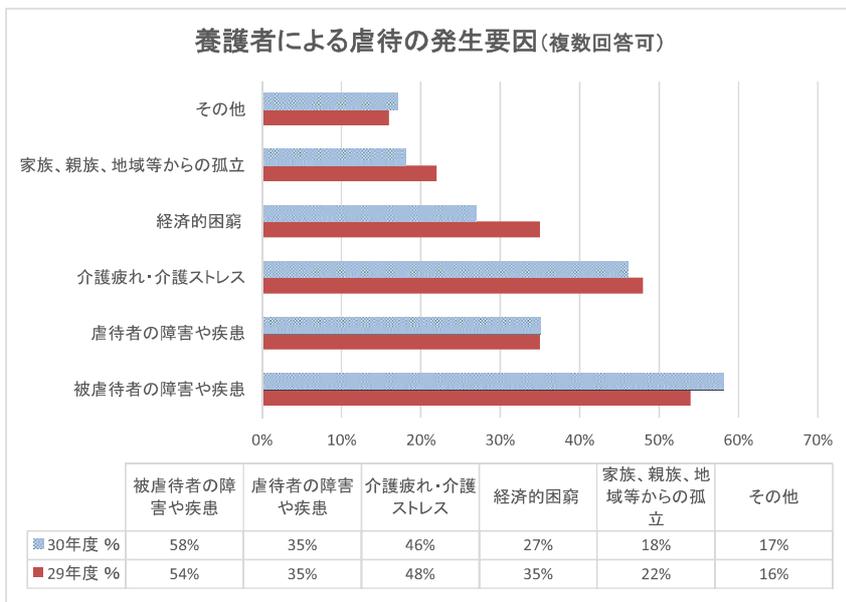
(参考) 養護者による高齢者の虐待 (区別)

	H27		H28		H29		H30	
	通報・届出件数	虐待認定件数	通報・届出件数	虐待認定件数	通報・届出件数	虐待認定件数	通報・届出件数	虐待認定件数
門 司 区	24	16	24	8	27	10	25	12
小 倉 北 区	21	9	34	16	47	14	36	21
小 倉 南 区	26	18	38	24	38	28	45	34
若 松 区	12	7	21	11	15	10	20	11
八 幡 東 区	32	25	40	28	28	21	20	16
八 幡 西 区	48	19	37	18	24	11	47	14
戸 畑 区	10	9	8	6	8	5	15	5
北 九 州 市	173	103	202	111	187	99	208	113

2 養護者による虐待発生要因

○「被虐待者の障害や疾患」58%で最も多く、次いで「介護疲れ・介護ストレス」46%、「虐待者の障害や疾患」35%、「経済的困窮（経済的問題）」27%、「家族親族、地域等からの孤立」18%の順であった。

○なお、前年度の発生要因と比較しても、虐待発生要因に大きな差はなく、2ヶ年ともに「被虐待者の障害や疾患」が最も多かった。



3 虐待の深刻度と分離状況

○虐待と認定した113件全体の虐待の深刻度は、「深刻度1」42.6%が最も多く、「深刻度2」26.1%、「深刻度3」23.5%の順であった。

○虐待の深刻度と分離状況について分析すると、53件(46%)で施設入所など虐待者から分離が行われていた（すでに分離となっていたケースを含む）。

○虐待の深刻度別に見ると、分離に至っていない事案は、深刻度1が27件(24%)と最も多く、深刻度が増すごとに分離の対応を行っていることがわかる

